

# 放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 令和5年7月24日(月)13:30～

2、開催場所 燕三条エフエム放送会議室

3、委員の出席

・委員総数 …… 7名

・出席の氏名…本間美加委員長、瀬戸明委員、市島清貴、遠藤愛子委員、内藤 健委員

・欠席の氏名…田辺とも子委員、本間幸美子委員

4、委員長挨拶 高橋委員長

6月22日、燕三条駅長に赴任いたしました。それまでは、新潟駅長、販売課にいました。観光促進、デスティネーションキャンペーンなどの仕事をしておりました。県央地区では、「燕三条工場の祭典」「弥彦観光」などにも携わりました。土地勘があまりありませんが、頑張っていく所存です。よろしくお願いいたします。

5、事業者側経過報告 阿部代表取締役社長

今年で開局25周年を迎えることとなります。開局時は、燕三条駅構内に事務室を構え、その縁もあって、番組審議委員長は歴代、駅長にお願いしております。本間さんよろしくお願いいたします。

弊社では、25周年を機に、大きく番組改編を予定しております。この席をお借りして、審議委員の皆様から、ご意見などをいただければと思います。

本日もよろしくお願いいたします。

6、議題

(1)「★ヒジャン★のゲームセンター768」(6月17日(土)12:00～13:00放送)

番組試聴 意見交換

市島委員

ヒジャンさんは有名な方なんですか。

阿部局長

ゲームセンター界隈では有名で、ファンからのメッセージも多く、「全日本テーブル筐体愛好会」のメンバーです。番組は、ゲームを知らない方が聴くとよくわからないかもしれません。プレゼント企画もあり、好評を得ています。

阿部社長

土曜日放送の番組として、ここの放送枠は、テスト的な意味で放送しています。どんな番組を聴取者が興味を持っているか、スポンサーはどう見ているかの観点で番組を作っていただいています。制作は社員ではなく、外部の人が制作しています。そして制作者自らスポンサーをつけて作っていただいています。

なぜスポンサーをつけてもらっているかといいますと、土曜日の生放送で、社員の管理の下で放送していますので、経費が掛かります。ですので、負担軽減でスポンサーをつけていただいています。今回審議いただいている番組はゲーマーが多く聞いていただいているので、聴取者の反応を見ています。

話は変わりますが、いまコミュニティ FM は危機を迎えていると感じています。3セクで経営している放送局が破綻し、「1市1波、放送範囲は自治体の中」という制約を受けながらの放送ということもあり、次の展開をどうしていくかということで模索しています。

他社の事例ですが、FM しばたさんが4月から BSN ラジオの番組を同時放送しておりまして、弊社でもそれにならって放送してみようかと考えております。コミュニティ FM 局が生き残るための一つの手段として、役員にも相談して方向性を決定しようと思っておりますが、番組審議員のご意見も頂戴できればと思います。

#### 瀬戸委員

生き残りを考えるのであれば、FM 新潟や BSN ラジオの連携もいいのではないかと思います。県央地域を見ますと、「ケンオードットコム」といったウェブメディアや、県央で活躍されている永桶康子さんなどいらっしゃるの、そういう方と一緒にブラッシュアップを図ってもいいと思います。

防災を考えてみますと、コミュニティ FM は欠かせません。原点に戻ってブラッシュアップすることが必要かと思えます。その上で、他メディアとの連携はありかと思えます。

#### 市島委員

コミュニティ FM ならではの「防災」とは何かと考えたとき、三条市・燕市のリスナーからの情報を紹介できないものでしょうか。

#### 阿部社長

ニュースソースの責任があります。情報の出どころは何かということです。JR、東北電力、国道事務所などですね。リスナーが有事の際、頼るのは NHK さんです。第1報が NHK をはじめ大手メディアなら、コミュニティ FM は3～4日たった時にどんな情報を流すかです。2004年の三条市の大水害のとき、7月13日から7月31日まで災害情報・生活情報を流し続けました。第2報、第3報、そして生活に係わる災害情報を流すことがコミュニティ FM の使命ではないかと思えます。

ただし、有事の際に聞いていただかなければ意味がありません。普段からリスナーの興味のある番組を流すことが大事になります。ところが行政番組は「おもしろくない」。聞いていただけるような工夫が必要になるわけです。

聴取率はなかなか測れません。そこでプレゼント等でどれくらい応募があったかの数が目安になります。

「まちの元気」「放送局の影響力」「経営と放送」すべてリンクしていると思います。

#### 瀬戸委員

ほしい情報を行政が出し切れていない、聞き手が受け止めていない現状もあるかと思えます。提案なんですけど、「ボランティア特派員」といった制度を作ったり、市側にも情報発信の責任を持たせるというのはどうでしょうか。

#### 阿部社長

ラジオは「町のインフラ」ということでしょうか。

#### 内藤委員

有事のことを考えると、コミュニティ FM は必要です。いろいろと挑戦する上で、BSN ラジオと連携していくなどのような新しいことを取り入れていくのはいいと思います。

遠藤委員

私は主に NHK を聞いています。家の中では「ラジオは〜と」が入らないんです。ラジオは、定期的に天気や JR、道路の情報が入ります。お年寄りには「スマホ」が使えないという方もいると思います。そんなときラジオは簡単に聞けて情報収集できるのでありがたいです。

内藤委員

10代・20代の若者も結構ラジオをきいているみたいですし。車を運転していてもラジオ聴いている人多いですよ。

市島委員

ネットとの連携・活用も必要だと思います。NHK できえニュースを見ていても、「詳しくはネットでも見れます」という言い方をしていますから。今や、ネットを中心にテレビ・ラジオは見聞きされていますよね。

(2) その他 次回の番組審議委員会の日程について

令和5年9月を予定。(9月22日予定)

6、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容方法及び年月日

自社放送 令和 5年 7月 25日(火)

書類のエントレンスホールへの備置き 令和 5年 7月 26日(水)

自社 HP 上に記載 令和 5年 7月 27日(金)

7、その他、参考となる事項

特になし。